

2024年2月29日

ウェザーニューズ、「春夏の小売需要傾向 2024」を発表 全国的に暑い夏、気温は全国的に平年より高い予想

夏物商品の需要増は前倒し&長期間に、雷雨が発生しやすく雨具のニーズ増の見込み

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、3~8月の長期見解と、天気傾向から商品の売れ行きを予想した「春夏の小売需要傾向 2024」を本日発表しました。

8月までの気温は、全国の広い範囲で平年より高い予想です。春(3~5月)は偏西風が平年より北を流れる影響で暖かい空気に覆われます。夏(6~8月)は地球温暖化の影響で北半球の気温が高い状態が継続することや、ラニーニャ現象の発生により太平洋高気圧の北への張り出しが強まる影響で、全国的に暑い夏になりそうです。チベット高気圧は平年よりも弱い傾向ですが、張り出しが強まるタイミングでは猛暑に注意が必要です。

今春は早い時期から気温が高く、夏にかけて気温が高い状況が続くことから、冷やし中華やかき氷などの冷たい食品のほか、夏服、制汗剤、防虫剤、扇風機などの夏物商品の需要が例年よりも早めに高まり、夏になっても需要の高い状態が継続しそうです。また、降水量は全国的に平年並~多い傾向で、突発的な雷雨も発生しやすいため、雨具の需要増も期待できそうです。

食品や飲料、衣料品など様々な商品が天候の影響を受けることから、当社は企業向けに商品ごとの気象相関分析や天気連動型の広告サービスを提供しています。生産や販売における気象データ活用やDX推進に関心のある方はお問い合わせください。

データ分析や天気連動広告に関するお問い合わせはこちらから

<https://wxttech.weathernews.com/contact.html>

◆春夏の気象見解

春(3~5月)はエルニーニョ現象や地球温暖化の影響で、地球全体で大気の温度が高くなる見込みです。加えて、偏西風が日本付近で平年より北より流れる傾向のため、南からの暖気が入りやすくなります。このため、春の気温は全国的に平年よりやや高い~高い予想で、暖かい春になりそうです。

夏(6~8月)も地球温暖化の影響で、北半球全体の気温が高い状況が継続し、気温が高くなりやすい状態が続きます。また、インド洋の海面水温が高い状態が続きます(①)。この影響で、夏の前半までは南シナ海~フィリピン近海で高気圧が発生しやすく、対流活動が不活発な状態が続いて(②)、太平洋高気圧の西(沖縄方面)への張り出しが強まる傾向です(③)。さらに、夏の後半にはラニーニャ現象が発生する可能性があり(④)、南シナ海を中



心に次第に対流活動が活発化することで(⑤)、太平洋高気圧の北への張り出しが強まる見込みです(⑥)。これらの影響で全国の気温は平年よりやや高い～高く、また、梅雨明け以降は晴れて暑い日が多くなる予想です。なお、チベット高気圧の張り出しは平年よりも弱い傾向なので、太平洋高気圧と重なってダブル高気圧となる頻度は低い予想ですが、張り出しが強まるタイミングでは猛暑に注意が必要です。

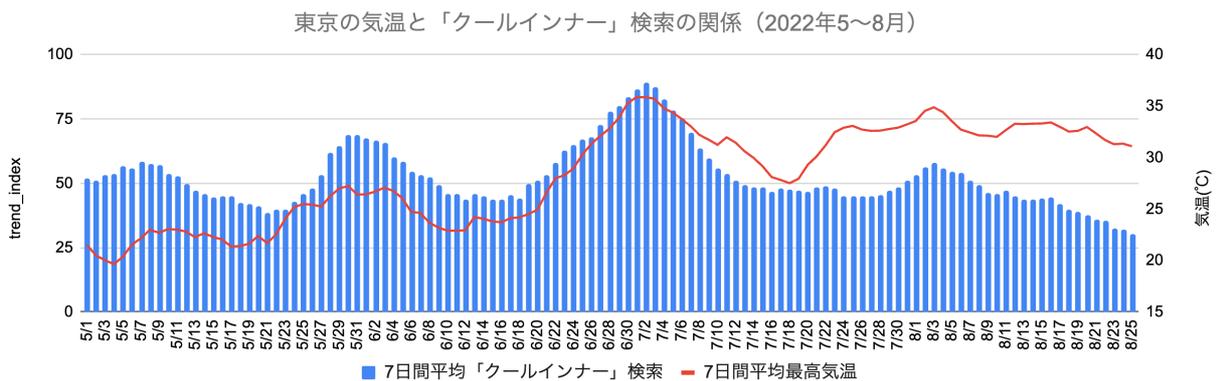
3～8月の降水量は、北～西日本で平年並～多い、九州南部と沖縄・奄美は平年より多い予想です。3月は冬の気圧配置になることはあるものの長くは続かず、東日本や西日本を中心に前線や低気圧の影響を受けやすい時期がありそうです。4月と5月の天気は数日周期で変化しますが、4月は東～西日本では曇りや雨の日が多く、5月は北～西日本で晴れる日が多くなりそうです。ただし、4月は発達した低気圧の影響を受けて春の嵐になる可能性もあり、4～5月は上空の寒気による突発的な雷雨に注意が必要です。

夏は期間を通してチベット高気圧の北への張り出しが弱く、偏西風は平年より南を流れる見込みです。さらに、太平洋高気圧の張り出しが西よりに強まることで、暖かく湿った空気が流れ込みやすくなります。このため、梅雨の総雨量は全国的に平年並～多くなりそうです。梅雨入りは沖縄で平年並、その他の地域は平年より遅い傾向です。梅雨末期の大雨や8月の北日本(日本海側)中心の大雨に備えてください。また、梅雨明け後は東～西日本は突発的な雷雨、沖縄は台風による暴風雨にご注意ください。

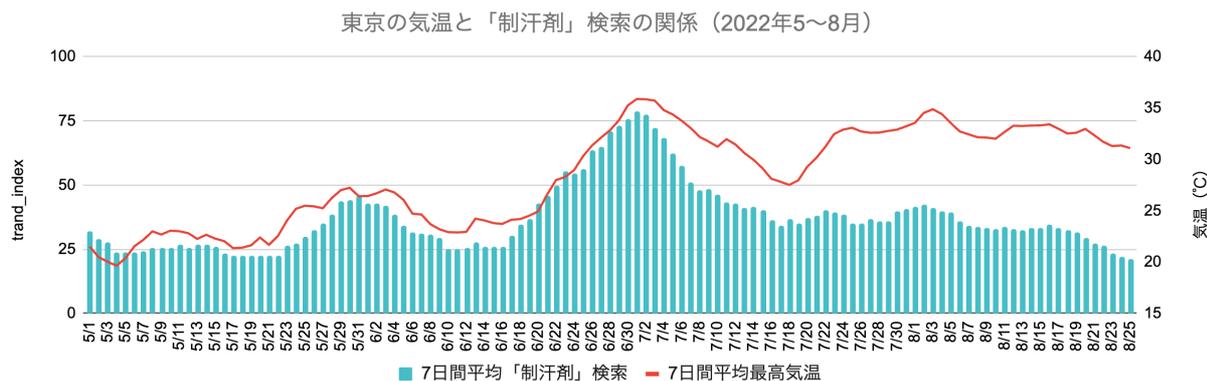
※最後のページにエリアごと(北日本・東日本・西日本・沖縄奄美)の気象見解を記載しています。

◆春夏の小売需要傾向 2024

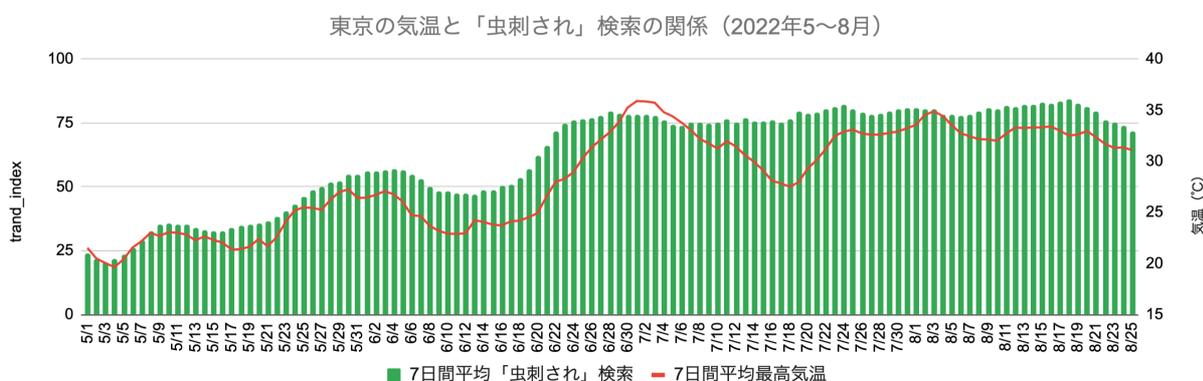
当社流通気象チームの気象データアナリストは、過去の5～8月のGoogle検索数の傾向と気象データの関係性を分析し、今夏の気温傾向をもとに季節商品が注目される時期を予想しました。今春は早い時期から気温が高いと予想されることから、コールド商品や日焼け対策グッズなどの春夏商品は、春のはじめから需要が高まりそうです。また、夏にかけて気温が高い状況が続くことから、クール素材の夏服や接触冷感を使った商品から、かき氷や冷やし麺など冷たい食べ物、スポーツドリンクや経口補水液などの熱中症対策商品や、制汗剤や防虫用品、扇風機などの家電用品まで、様々な分野の夏物の季節商品の需要が例年よりも早くから高まりそうです。加えて、梅雨の雨量は平年並～多い傾向で、梅雨明け後の突発的な雷雨も多い可能性があるため、雨具の需要増も期待できそうです。



今年の春～夏にかけての東日本の気温傾向は2022年と似ています。2022年の夏物商品のGoogle検索数の傾向を見ると、「クールインナー」は、最も気温が高くなった6月下旬～7月頭に検索数が一番の山となっていますが、その前の5月上旬や5月下旬～6月頭でも検索数が大きく伸びているのが分かります。「制汗剤」の検索数も似たような傾向で、7日間の平均最高気温が最も高くなる時期までは気温の上昇に伴い、検索数が上昇しています。今年も春から平年より高い気温となる予想のため、2022年のように5月や6月早々に夏服の需要が伸びる可能性があります。



また、「虫刺され」や「コバエ」などの検索数も気温に応じて多くなります。2022年は、6月下旬から8月下旬まで検索数は多い状態が続きましたが、クールインナーや制汗剤と同じく5月上旬や5月下旬~6月頭でも気温が上がれば注目度も上がっています。今年も本格的な夏となる前から、虫よけ、防虫への関心度、需要が高まりそうです。



一方で、「かき氷」は、本格的な夏の暑さになると検索数がぐっと増えています。その後も、8月の終わりにかけて注目度は高い状態が続いています。他の商品と少し傾向は異なり、春や初夏の暖かさではあまり検索数は増えませんが、梅雨明けなど真夏の到来とともに需要が高まり、残暑によって需要の高止まりが続く傾向がありそうです。今年も8月の終わりにかけて気温の高い状態が続く見込みで、かき氷の人気も長く続きそうです。



当社の気象データ提供・分析サービス「WxTech®」では、企業向けに商品と気象データの相関を分析する『気象相関分析』や『天気連動型広告』を提供しています。今シーズンの気温傾向や花粉・桜などの予想をもとに、企業の商品やサービスの需要を分析し、適切なタイミング・エリアのユーザーに、お天気アプリ「ウェザーニュース」上でキャスターによる動画広告や企業オリジナルのバナー広告を配信します。商品ごとのデータ分析や広告配信にご関心のある企業の方はお気軽にお問い合わせください。

▶お問い合わせはこちらから: <https://wxtech.weathernews.com/contact.html>

◆エリアごとの気象見解

エリア	3～8月の気温 (平年との比較)	3～8月の気象見解
北日本 (北海道・東北)	平年よりやや高い～高い ・3～5月: やや高い～高い ・6～8月: やや高い～高い	<p><3月> 天気は周期変化で、日本海側の地域では曇りや雨雪が降る日が多くなりそうです。ただ、晴れる日の日向では日差しの温もりが感じられそうです。積雪エリアは融雪による影響に注意が必要です。気温はやや高い～高い予想です。</p> <p><4月> 上旬と下旬は天気がスッキリせず、雨雪が降る日が多くなります。中旬は周期的に変化し、春の嵐になるタイミングもありそうです。気温は平年より高い予想です。寒暖差が大きくなるので、体調管理をしっかりとしてください。</p> <p><5月> ゴールデンウィークは比較的晴れる日が多い傾向ですが、中旬はぐずつきやすくなりそうです。後半ほど晴れる日が増えるものの、雷雨に注意が必要です。気温は高い予想で、暖かい傾向が続きます。</p> <p><6～8月> 北海道では前半は周期変化しやすく、後半は曇りや雨の多い時期がありそうです。東北の梅雨入りは平年より遅くなる可能性があり、梅雨明けは平年並の見込みです。気温は広い範囲で平年より高い予想のため、熱中症対策が欠かせません。</p>
東日本 (関東甲信・北陸・東海)	平年よりやや高い～高い ・3～5月: 高い ・6～8月: やや高い～高い	<p><3月> 天気は一時的に曇りや雨の日が多くなるものの、全般には春らしく周期変化する見込みです。気温は平年より高い予想で、桜の開花も平年より早まる予想です。</p> <p><4月> 上旬、下旬は曇りや雨の日が多く、雷雨になることもありそうです。中旬は周期変化し、春の嵐に注意が必要です。気温は平年より高い予想です。</p> <p><5月> 晴れる日が多くなりますが、下旬は雷雨になることもありそうです。ゴールデンウィークも比較的晴れる日が多くなる予想です。気温は平年よりも高い傾向が続く、晴天で暑さを感じそうです。紫外線対策をお忘れなく。</p> <p><6～8月> 6月上旬の天気は周期変化しますが、中旬以降は曇りや雨の日が多くなります。梅雨入りは平年より遅くなる可能性があります。梅雨期間中は強雨や大雨に注意が必要で、梅雨明け後も雷雨になる日がありそうです。梅雨明けは突発的な雷雨に要注意です。気温は広い範囲で平年より高い予想のため、熱中症対策が欠かせません。</p>
西日本 (近畿・中国・四国・九州)	平年より高い ・3～5月: 高い ・6～8月: 高い	<p><3月> 天気は春らしく周期変化になります。気温は平年より高い予想ですが、まだまだ冷える日もあります。山陰や九州北部では雪が降ることもありそうです。</p> <p><4月> 上旬、下旬は曇りや雨の日が多く、雷雨になることもありそうです。中旬は周期変化で春の嵐になる可能性があります。気温は平年より高い予想です。朝晩と昼間の体感差が大きくなるため、脱ぎ着できる服装が活躍しそうです。</p> <p><5月> 晴れる日が多くなりそうです。ゴールデンウィークも比較的晴れる日が多くなる予想ですが、雨が降る日もありそうです。気温は平年よりも高い傾向が続きます。暑くなる日も出てくるので、紫外線対策をお忘れなく。</p> <p><6～8月> 6月上旬の天気は周期変化しますが、中旬以降は曇りや雨の日が多くなります。梅雨入りは平年より遅くなる可能性があります。また梅雨期間中は、強雨や大雨に注意が必要で、梅雨明け後も雷雨になる日や、ぐずつきやすい時期がありそうです。気温は平年より高い予想で、熱中症対策が欠かせません。</p>
沖縄 奄美	平年よりやや高い～高い ・3～5月: やや高い～高い ・6～8月: 高い	<p><3月> 上旬は曇りや雨で天気がスッキリしません。中旬からは周期変化となり、晴れる日が多くなります。気温は平年よりやや高い傾向が続く、暑くなる日が出てきそうです。</p> <p><4月> 天気は周期変化しますが、上旬と下旬は曇りや雨の日が多く、中旬は晴れる日が多くなりそうです。気温は平年より高く、暑くなる日が多くなる予想です。紫外線が強くなる時期なので、しっかりと対策をしてください。</p> <p><5月> 上旬は天気が周期変化しますが、中旬以降は曇りや雨の日が多くなり、雨の季節に入りそうです。下旬には雨が強く降るおそれがあります。気温は引き続き平年より高い傾向で、蒸し暑くなりそうです。沖縄の梅雨入りは概ね平年並の見込みです。前線活動が活発化するおそれがあるため、強雨や大雨に注意・警戒が必要です。</p> <p><6～8月> 梅雨明け後は晴れて暑い日が多くなりますが、7～8月は台風の影響を受ける可能性があるため、最新の情報を確認し、早めに備えてください。気温は平年より高い予想で、暑くなるので熱中症にご注意ください。</p>

※本傾向は2月29日時点のものです。